



発行 特定非営利活動法人 NPOぽぽハウス
〒522-0043 彦根市小泉町 300-9 サンロードビルⅡ 2F
(TEL)0749-27-9777, 21-0664 (FAX)27-9888
E-mail popohouse@nifty.com

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽ だより



2008年 1月 25日発行

たのしかったね!!

ぽぽクラブ「クリスマス会」

12月17日南地区公民館で親子教室ぽぽクラブのクリスマス会をしました。会場は県立大の学生さん達もお手伝いしてくれ、クリスマスツリーを中心にクリスマスムードいっぱいの素敵な飾りつけの中、子ども達を迎えました。

“はじまりの鐘”を合図にいよいよスタート!。オープニングはジングルベルのダンスと歌で楽しそうに体を動かすお母さんと子ども達。続いてお母さん達によるハンドベル演奏や手あそびの出しもの、みんなでフルーツバスケットをして盛り上がった頃、リンリンリンと鈴の音が聞こえてきました。サンタさんの登場です。1人1人サンタさんからプレゼントをもらい「ありがとう」とお礼を言う子、握手してもらう子、一緒にダンスをする子などさまざまです。サンタさんが帰った後は、ロールパンでサンドイッチパーティーです。お母さんが作ってくれた玉子やウィンナー・焼きそばなどの具をはさんで、オリジナルサンドイッチのできあがりです。みんなの笑顔で楽しいステキなクリスマス会になりました。

子育て支援部 手原

編集後記 「今朝は寒かったですね!」「伊吹の山のこちら面に雪が少ない年は、全体的に雪が少ないで」「もう水仙が開いていたわ!」「盆梅は、もうじき始まるなあ」高齢者の方々の会話にはいつも季節を感じ、風土を感じるお話に心和ませてもらいます。寒さも心温まる会話でほっこりと…

2008年を迎えて

松の内をはやすぎ(特活)NPOぽぽハウスも本格的に始動しはじめました。昨年中は皆様方に御支援・御協力を戴きありがとうございました。昨年来何かと心沈むニュース、大は年金問題から、身近な問題としては、荒神山少年自然の家の閉館まで枚挙にいとまがありません。県も市も緊縮財政を錦の御旗にあちらの施設は閉鎖、こちらの補助金は打切りと暗い話ばかりが聞こえてきます。その中で順調に成長してきたNPOぽぽハウスの今年度は再度初心に戻るべく足元に目をやろうと取り組んで参りました。いろいろと多方面に広がった活動も、それぞれの分野で再点検をし自分達の足りない部分を洗い出し、それに対して我々はいかにすべきかを真剣に考え、必死に課題解決の道・方法を探すことにむけて取り組んでいます。

又、NPOぽぽハウスでも世代交代が進んでいます。70才代・60才代の会員も多くありますがやはり中心となって活躍しているのは30才代・40才代の会員達です。彼らの若さ(?)に溢れたパワフルな行動こそが今後のNPOぽぽハウスを作っていくものだと確信しています。まだまだいたらぬ点多々あるかとは思いますが、皆様方の暖かい御指導と御支援をお願いいたします。

理事長 山脇 吟子

地域活動の中で～児童デイより～

日々のぽぽハウスでの活動は、学校が終わってからの、生活や、遊びが中心です。

活動の中心は、ぽぽハウス内や近くの公園が多くなっています。

しかし祝日や土曜日等は、積極的に地域の活動に参加しています。

体育の日には、電車に乗って、彦根市のイベントに参加しました。スタッフの人と体力測定をしたり、レクリエーションで、地域の人と、じゃんけんゲームをしたりしました。帰りの電車では、親子連れと仲良くなり、降りる時には「バイバイ」と、挨拶を交わすこともできました。社会の中で、暖かく見守られている経験が出来たよい機会となりました。

また、えびす講へ行ったときのエピソード。ごったがえす多勢の人達の中で、Rちゃんは、SL機関車に乗りたかったのです。でも『一人では心細く…でも乗りたい…』そんな思いの中「Nちゃんが、一緒なら乗れる。」と教えてくれ、Nちゃんと一緒に、二人並んでSL機関車に乗る事が出来ました。多勢の人の中、仲間がいたら大丈夫…という貴重な体験をする事が出来ました。

また、大好きなボール遊びがしたくって、公園で、野球をしていた一組の親子連れに近づいていったU君。お父さんが、U君と自分の子どもと、交じえて、三人でボール投げをしてくれました。「うまい、うまい」と声をかけながら、一生懸命、キャッチボールをしてくれました。

いろいろな経験の中でたくさんの人に出会うことができました。その出会いの中で、子どもと共に、たくさんうれしい出来事に出会う事が出来ました。

これからもぽぽハウスのスタッフと子ども達だけでは体験できない貴重な経験をしていきたいと思えます。

児童デイ 井口